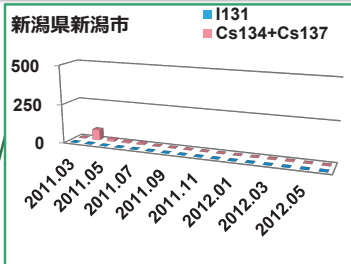
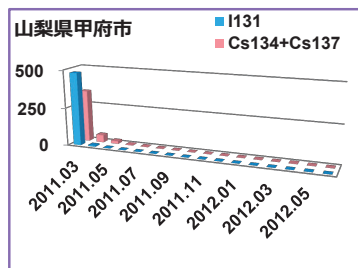


（単位： MBq/km²/月）



MBq/km²/月：メガベクレル/平方キロメートル/月

文部科学省発表：環境放射能水準調査結果（月間降下物）より

福島第一原子力発電所から300km離れた甲府市において、事故直後の2011（平成23）年3月に放射性セシウム、放射性ヨウ素の降下が観測されましたが、2011（平成23）年4月以降は、放射性降下物が大幅に減少したことがわかります。180km離れた新潟市においては、事故直後の2011（平成23）年3月においても、放射性セシウム、放射性ヨウ素の降下が少なかったことがわかります。

こうした降下物に対応するため、2011（平成23）年3月17日には厚生労働省が食品の暫定規制値を定め、流通制限を行い、3月18日からは文部科学省（当時）が宮城県及び福島県を除く各都道府県において毎日1地点の水道水の検査を実施しました。

本資料への収録日：2013年3月31日

本情報は事故当時（2011年）～2012年の情報です。

関連Q&A

- ・3章 QA1 モニタリングの実施状況について教えてください
- ・3章 QA2 セシウムをはじめとする放射性物質の汚染状況の調査はどうなっていますか
- ・3章 QA3 農地土壌の放射性物質による汚染状況はどのようになっていますか
- ・3章 QA4 物理減衰やウエザリング効果は、どの程度だと考えられるのですか
- ・3章 QA7 航空機モニタリングでは、何を測定しているのですか
- ・3章 QA21 昔の核実験でできた放射性物質が今も残っているというのは本当ですか
- ・3章 QA23 1980年まで行われていた大気圏内核実験で生成したストロンチウム90やセシウム137が、現在でも一般の環境に残っているのは、なぜですか